

# 1 部

学習サポート

## 各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2018』にてご確認ください。
  - ・ p. 4～5→学年暦 ・ p. 8～13→通信教育部カレンダー
  - ・ p. 47～50→社会福祉士 演習・実習科目関連締切等
  - ・ p. 51～53→精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等

## 5 / 28 ～ 8 / 8 の追加・変更点

- 7 / 21・22 (東京) 「社会福祉援助技術演習A」会場  
変更前：東京サテライト (四ツ谷)  
変更後： 7 / 21東京サテライト (四ツ谷) 7 / 22主婦会館プラザエフ
- 8月 (新潟) 「老年心理学A VTR」「老年心理学B VTR」受講方法  
変更前：8 / 6・7「老年心理学A VTR」 8 / 7・8「老年心理学B VTR」をそれぞれ申込み・受講  
変更後：8 / 6～8「老年心理学A・B VTR」として2科目セットでの申込み・受講

## 夏期スクーリング受講にあたっての留意点

- (1) 羽織る衣類等をご持参ください 教室の冷房について、体感温度には個人差があるため、全ての方に快適な室温とすることは困難です。また、エアコンの吹き出し口付近の座席はかなり冷えることがあります。そのため、ご自身の衣類等や座席位置にて調節をお願いします。
- (2) 健康保険証をご持参ください 暑さや冷房等により体調を崩しやすい季節です。万が一に備え、持参されることをお奨めいたします。

# 社会福祉学科へようこそ

社会福祉学科長・通信教育部  
副部長・教授

三浦 剛

ご入学おめでとうございます。社会福祉学科へようこそ。

今、日本の社会福祉の制度は大きな曲がり角にきています。お耳にしたことがあるかもしれませんが「我が事、丸ごと、地域共生社会づくり」ということが、これからのわが国の社会福祉制度の大きな目標として提示され、そこにソーシャルワーカーがどのようにかかわるかということが議論になっています。

ここでは地域での相談の受付やネットワークの拠点になることが求められているのだとすれば、ソーシャルワーカーでなくてもできるという考え方があります。例えば保健師さんが地域の保健活動として行ったり、薬剤師さんが相談窓口を薬局につくるとか、歯医者さんが実際にそういう活動をしよとする動きも出てきています。しかし、地域をつくるというのは、ただ相談を受け付け、資源とつなげるだけではなくて、正確な地域の診断（アセスメント）と、問題点を解決していくための計画を立てる力（プランニング）がなくてはなりません。そしてそれらの力を発揮するためには、住民が何に困っているのかということを聴き取る面接の力、そのようなソーシャルワークの力というものがとても大事になっています。

誰もが地域づくりに関わるこれからの時代に、これから社会福祉学を学び、社会福祉学の専門性を身に付けたソーシャルワーカーとして実践を積み重ねていていただきたいと思っています。

社会福祉学科では、社会福祉学の理論から技術に至るまで学べるカリキュラムを用意しています。そして、皆さんの学びをしっかりサポートします。これからの時代、それぞれの立場で地域社会に貢献する人材をよりたくさん輩出したいと考えています。皆さんの学びに期待します。

# 福祉心理学科へ ご入学おめでとうございます

福祉心理学科長・教授 **渡部 純夫**

教員 MESSAGE

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

福祉心理学科でのこれからの学習ですが、高校時代やその他今までの学習とは異なり、自分で想像しながら、自分で問題を見つけ、それを解決していくということが必要となります。そのため、我々は皆さんの学習の一部を援助するという立場の者となります。主体は皆さんです。皆さんが自分の将来像、未来像を見つめながら、どのように努力していくか、その結果が、卒業後の明るい希望に満ちた可能性を現実に移しかえた姿として、仕事をしていくことになるのだと思います。今現在仕事に就いている方もいらっしゃると思いますが、皆さんが自分のことをよく知り、なおかつ対象者となる人たちに対して、的確な援助や質の高い対応を行えるように、我々も努力して援助していきます。皆さんも是非努力していきましょう。それが、ひいては地域のため、人々のため、日本のため、自分のためということになっていくと思います。

通信教育というものは、自分で自分なりの計画を立てながら進めていかなければなりませんので、かなり厳しいところがあると思います。大変なときには、スタッフや教員に相談をしていただければ、できる限り対応はしていきたいと思いますが、要は、自分自身です。自分自身をしっかりと持って、自分の学問探究を通しての進むべき道を、しっかりと歩いてください。我々もしっかりとサポートしながら応援します。卒業までの間、どうぞよろしくお願い致します。